

【史料を使った問題】（難易度：やや難）

次の西ヨーロッパ世界の形成と発展に関連した史料A～Dを読んで、あとの間に答えなさい。なお、史料は一部改めている。

史料A：ちょうど聖降臨祭の日、ミサのために①王が至福の使徒ペテロの師の前での祈りから立ち上がった時、②レオ3世は彼の頭上に冠を載せ、そしてすべてのローマ人達が賛同の歓呼をあげた。（『フランク王国年代記』より）

史料B：この時期に※、③腫れ物あるいは疫病とも言われる病気に始まる大量死が世界中において同じようにかつ広範囲に広がった。この病気はある者の左腕に、また他の者の鼠径部に発病し、三日のうちに死に至らしめた。（『ジャン・ル・ベル年代記』）

※ ここで書かれている内容は14世紀の起きた出来事に関するものである。

史料C：皇帝の許可を得てトラキアに住んでいたゴート人もローマ人に向けて武器を取ったのはおよそこの頃であったが、指揮を執ったのはビザンティウムでパトリキウスの身分にあって、コンスル職に昇っていたテオドリックであった。しかし自身のいかなる状況にあってても事を有利に処理することを心得ていた⑤皇帝ゼノンがテオドリックに勧めたのは、イタリアに進軍して、（④）を攻撃し、そしてテオドリック自身とゴート人として領土の西部を支配することであった。（プロコピウス『戦史』第5巻より）

史料D：ノルマンディー公ウィリアムは、軍勢を3軍に分け、恐るべき敵に向かって果敢に進軍した。戦闘は、第3時（午前9時頃）に開始されたが、殺戮を繰り返しながら、夜まで続いた。⑥ハロルド自身は、最初の交戦で致命的な刺し傷を受けて死んだ。（Ed. E. M. C. van Houts, *Gesta Normannorum Ducum of William of Jumièges*, 2 vols., Oxford, 1992-5, vol. 2, pp.158-72 より）

問1 文中の下線部①に関する各問いに答えよ。

(1) この王はフランク王国の王である。あてはまる人物を選びなさい。

ア オットー1世    イ ピピン    ウ カール大帝    エ クローヴィス

(2) この王が治めるフランク王国の王朝名を答えなさい。

問2 文中の下線部②の人物はどれに該当するかを次の中から選びなさい。

ア 国王    イ 皇帝    ウ 宮宰    エ 教皇

問3 文中の下線部③に関する各問いに答えよ。

(1) この病気について述べた次の文章の空欄にあてはまる語句を入れなさい。

この病気は（ ）病とよばれ、イタリアから流行しはじめ、フランスを通過して、ヨーロッパ各地に広がっていった。

(2) この病気が流行した14世紀に行われていた戦争を選びなさい。

ア 百年戦争　イ バラ戦争　ウ ドイツ農民戦争　エ イタリア戦争

問4 文中の空欄(④)にあてはまる人物を選びなさい。

ア ユスティニアヌス帝　イ オドアケル　ウ ハイน์リヒ4世　エ ジョン王

問5 文中の下線部⑤はどの国のことについて述べたものか、その王国を選びなさい。

ア ヴァンダル王国　イ 西ゴート王国　ウ ランゴバルド王国　エ 東ゴート王国

問6 文中の下線部⑥に関する各問いに答えよ。

(1) この結果、ウィリアムに征服された国を選びなさい。

ア キエフ公国　イ イングランド王国　ウ ノヴゴロド国　エ シチリア王国

(2) この結果、ウィリアムが建てた王朝を答えなさい。

問7 史料A～Dの出来事や状況がおきた時期として古い順に並べているものを選びなさい。

ア A→B→C→D　イ A→B→D→C　ウ B→A→C→D

エ B→C→D→A　オ C→A→D→B　カ C→D→B→A

【解答例】

問1		問2	問3		問4
(1)	(2)	エ	(1)	(2)	イ
ウ	カロリング朝		黒死	ア	
問5	問6			【配点】各2点。 合計20点	
エ	(1)	(2)	(3)		
	イ	ノルマン朝	オ		